平成22年度 支笏洞爺ニセコルート活動報告

- 1. ルート運営活動計画の進捗状況
- 2. 活動団体の活動状況及び課題
- 3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
- 4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
- 5. 平成21年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート 報告者: 支笏洞爺ニセコルート代表 熊谷 雅幸 報告年月:2011/3/31

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況総括
		神仙沼周辺の沿道の清掃活動	1	共和町神仙沼周辺 パノラマラインの清掃 活動	共和町商工会青年部	平成22年6月29日、 平成22年8月26日	[6月]9名 [8月]11名	景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざ
	エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる		2	綺羅街道沿道植栽	NPO法人ニセコまちづ くりフォーラムほか	平成22年6月(2回)	120名	まな取り組みが行われており、活動を継続することで少しずつ取組の幅が広がり、サポートメンバーも徐々に増えている。羊蹄山麓広域景観推進協
		花と緑の植栽	3	フラワーロードユリ植え	村づくり研究会	平成22年6月6日	180名	議会にて景観づくりに関する検討を継続している。 S N 1 また、京極町においては、羊蹄山のすそ野に広がる畑地帯がおりなす四季の農村景観と羊蹄山かる畑がありなず四季の農村景観と羊蹄山かる
			4	花いっぱい運動	留寿都村観光協会、る すつWAO他	平成22年6月上旬	100名	らの湧水を活用した地域づくりが評価され「日本で 最も美しい村」連合に加盟するなど、新たな動きも 見せている。
	四季折々の表情を見せる田園景観を保全する	廃屋の撤去	5	羊蹄山麓広域景観づく りと協働で検討	エリア全体	継続検討中	_	
	果樹園などの田園景観を整える	花による沿道の演出	6	沿道美化活動	そうべつくだもの村、 NPO法人そうべつ観 光協会	平成22年度	30名	洞爺湖エリアにおいては、地域活動団体を中心として沿道景観づくりの検討が進められており、景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われている。また、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会等と関連して行政機関との連携体制も構築されている。今後は継続に向けて各種広報媒体を活用した活動紹介・周知や活動周知に向けた行政への働きかけ、事務局機能のさらなる強化等が必要である。
			7	恵庭岳公園線植えるカム花ロード	えにわ シーニックプロジェクト	平成22年5月29日	100名	おもてなしの心を持って、清掃活動や沿道を彩る 花植え活動などを行い、地域住民や行政組織な どと連携を図りながらエリアの景観づくりに取り組
	花とみどりによる四季の感じられる景観形成	ウエルカムゲートの整備促進	8	ここからはじまる北海 道 千歳ウェルカム花ロー ドver.7	社団法人 千歳青年会議所	平成22年度 春の植栽:5月19日	約500名	んだ。特に小学生との沿道における花植え活動では、植栽作業だけではなく、次年度につながる管理作業も実施できた。今後は、現在の活動を継続し、エリアの特徴を活かして様々な切り口からエリア景観の向上を目指していく。
		河川周辺の清掃や管理	9	尻別川周辺清掃(草刈 等)	京極町景観を考える会	平成22年4月、8月(※ 毎年2回程度)	各10名程度	景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われており、活動を継続することで少しずつ取組の幅が広がり、サポートメンバー
	 尻別川などの自然豊かな水辺の景観をつくる	河川景観の保全と河畔林の創出	10	尻別川クリーン作戦	NPO法人しりべつリ バーネット、蘭越町	平成22年6月19日	250名	も徐々に増えている。羊蹄山麓広域景観推進協 議会にて景観づくりに関する検討を継続している。 また、京極町においては、羊蹄山のすそ野に広が る畑地帯がおりなす四季の農村景観と羊蹄山か
		散策路・フットパスの整備	11	『秋のフットパス・ウォー クin蘭越』	NPO法人しりべつリ バーネット	平成22年10月3日	32名	らの湧水を活用した地域づくりが評価され「日本で 最も美しい村」連合に加盟するなど、新たな動きも 見せている。
	エリアの景観ルールづくり 看板やノボリの撤去		12	羊蹄山麓広域景観づく りにて検討	羊蹄山麓広域景観づく り推進協議会	継続検討中	_	「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」にて4つの 検討部会を中心にそれぞれの情報共有・情報交 換等が行われている。
	洞爺湖に彩を添える	洞爺湖畔の清掃・彫刻の管理	13	MOVE洞爺湖2010	洞爺湖温泉観光協 会、洞爺湖町ほか	平成22年4月29日	300名	
景観	カッカン・マン で、シャン・ストの	花と緑の植栽	14	2010「サミット記念 の森」植樹のつどい	北海道、洞爺湖町	平成22年4月24日	100名	海炎地・ロマにもいては、地域活動用はも内心し
			15	SPAポイ〜ントキャ ンペーン	洞爺湖温泉観光協 会	平成22年1月8日~ 12月31日	_	洞爺湖エリアにおいては、地域活動団体を中心として沿道景観づくりの検討が進められており、景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われている。また、洞爺湖有珠山
			16	洞爺湖温泉夏祭り	洞爺湖温泉観光協 会	平成22年7月24日~ 8月20日	_	ジオパーク推進協議会等と関連して行政機関との 連携体制も構築されている。今後は継続に向けて 各種広報媒体を活用した活動紹介・周知や活動
	温泉街らしさを演出する	湯煙のあるまちづくりの推進	17	洞爺湖温泉薬師の 日「湯かたまつり」	洞爺湖温泉観光協会、洞爺にぎわい ネットワークほか	平成22年8月8日	-	周知に向けた行政への働きかけ、事務局機能のさらなる強化等が必要である。

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート 報告者: 支笏洞爺ニセコルート代表 熊谷 雅幸 報告年月:2011/3/31

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
			18	洞爺湖温泉冬まつり	洞爺湖温泉観光協 会	平成23年2月3日~ 10日	_		
		河川や湖面、沿道の清掃 (*清掃活動の推進)	19	453(ヨゴサン)530(ゴミセ゚ ロ) キャンペーンin支笏 湖	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成22年5月30日 平成22年9月30日	60名 70名		おもてなしの心を持って、清掃活動や沿道を彩る 花植え活動などを行い、地域住民や行政組織な
	北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくり の促進	音楽コンサートの開催	20	くっちゃん雪トピアフェ スティバル2011	くっちゃん雪トピアフェ スティバル2011実行委 員会 他	平成23年2月19日~20 日	400名		どと連携を図りながらエリアの景観づくりに取り組 んだ。特に小学生との沿道における花植え活動で は、植栽作業だけではなく、次年度につながる管 理作業も実施できた。今後は、現在の活動を継続
		地域資源の発掘・活用	21	教育環境プログラム 「廃油や使用済みのろ うそくを再利用したキャ ンドル制作」	NPO法人WAOニセコ羊 蹄再発見の会、倶知安 町立東小学校3年生 他	平成23年2月11日	40名	S N 2	では、現在の活動を経続し、エリアの特徴を活かして様々な切り口からエリア景観の向上を目指していく。
	エリアの資源の発掘と保全活用	地域資源マップの作成	22	ヒャクノメグミプロジェク ト(継続検討中)	支笏洞爺ニセコルート 代表者会議	平成22年度	_	S N 5	地域の魅力ポイントをめぐるバスツアーやエリアの周遊ルートづくりなどをきっかけに、地域資源の発掘やその有効活用についての検討を深めている。今後は、エリアや地域(住民や行政、企業など)との交流を深め、協力関係を築きながら、地域資源の活用方法やその仕組みを具体化していく。
			23	「ぐるっと洞爺湖MA P(マップ)」の作成	洞爺湖温泉観光協 会	平成22年度	_		「世界ジオパーク」認定や洞爺湖温泉誕生100年を記念する各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推し進め、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っていく必要がある。今後のさらなる検討が必要。
	地域コミュニティを大切にした地域づくりの推進	地域の人々と連携した活動の推進	24	各自治体での清掃活 動	ニセコ羊蹄エリア全域	平成22年度	延べ500名程 度 (各50~70 名)		環境教育プロジェクトとして、小学生が参加した廃油を活用したキャンドル作りなど、新しい取り組みも展開している。後継者や人材の不足や地域内への活動周知徹底、運営資金の捻出が困難などといった課題もあげられており、今後のさらなる検討が必要である。
	地域の資源を活かしたコミュニティビジネスの創	地域ブランド化の検討	25	「恵み野花マップ」の制作による地域ブランドのPR	社団法人恵庭観光協 会発行(えにわシーニッ クプロジェクト企画)	平成22年度 (春季)	_		地域の魅力ポイントをめぐるバスツアーやエリア の周遊ルートづくりなどをきっかけに、地域資源の 発掘やその有効活用についての検討を深めてい
	出	コミュニティビジネス研究	26	恵庭の秋めぐり紅葉バ スツアー	えにわシーニックプロ ジェクト	平成22年10月16日	45名	S W 1	る。今後は、エリアや地域(住民や行政、企業など)との交流を深め、協力関係を築きながら、地域 資源の活用方法やその仕組みを具体化していく。
	地域の人材の育成と活用	タウンミーティング・研修会の開催	27	真狩村子ども・若者支 援講演会~清水国明さ ん講演~	NPO法人しりべつリ バーネット	平成23年2月13日	150名		真狩村では平成22年10月、地域子育て支援センターをオープンし、幼い子どもたちの保護者に対する子育て支援を新たに始めた。今後も子ども達が健やかに育ち、若者がみな元気に自立できるよう、保護者と地域住民が、子育てを楽しんで、共に育ち、応援できる地域づくりが求められる。
			28	「えにわ市民プラザ・ア イル」におけるSBW活 動紹介	えにわ シーニックプロジェクト	平成22年12月20日~ 平成23年1月7日	-	S W 3	地域の人々を対象とした、トーク及び地域FM公開録音を実施。シーニックの魅力や活動の様子を紹介した。今後も様々な機会を通じて、PRを図っていく。
			29	世界ジオパーク認定記念ジオツアー	洞爺湖有珠山ジオ パーク推進協議会	平成22年6月26日・ 27日	40名		
地域		子供を対象とした講座・ツアーの開催	30	第1回洞爺湖有珠山 ジオパーク勉強会	洞爺湖有珠山ジオ パーク推進協議会	平成22年8月7日	20名		

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート 報告者: 支笏洞爺ニセコルート代表 熊谷 雅幸 **報告年月: 2011/3/31**

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
エリアの人材育成		31	世界ジオパーク登録 1周年記念「火山の 不思議とジオパーク」	洞爺湖有珠山ジオ パーク推進協議会	平成22年8月15日	-		「世界ジオパーク」認定や洞爺湖温泉誕生100年を記念する各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推し進め、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っていく必要がある。今後のさらなる検討が必要。
	エリア人材登録制度の検討	32	洞爺湖有珠火山マイ スター養成講座の実 施	洞爺湖有珠山ジオ パーク推進協議会、 胆振総合振興局	平成22年8月27日・ 28日	60名		
	タウンミーティング・フォーラムの開催	33		洞爺湖温泉観光協 会, 北海道新聞社	平成22年5月15日・ 16日	-		
交流と連携による地域づくりの推進	自然環境学習・教育プログラム	34	ここからはじまる北海 道 千歳ウェルカム花ロー ドver.8	社団法人 千歳青年会議所	平成22年度 春の植栽:5月19日			地域の魅力ポイントをめぐるバスツアーやエリアの周遊ルートづくりなどをきっかけに、地域資源の発掘やその有効活用についての検討を深めている。今後は、エリアや地域(住民や行政、企業など)との交流を深め、協力関係を築きながら、地域資源の活用方法やその仕組みを具体化していく。
		35	(に)」食ブランド化プ	ゆったリズム体験倶 楽部、洞爺にぎわい ネットワーク、洞爺湖 温泉観光協会	平成22年度	_		
	地産地消の推進	36		NPO法人そうべつ観 光協会	平成22年度	-		「世界ジオパーク」認定や洞爺湖温泉誕生100年 を記念する各種イベントなど様々な取り組みが展
エリアの産業の活性化		37	洞爺湖・秋の味覚ま つり 2010	洞爺湖温泉観光協会	平成22年10月23日・ 24日	-		開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推し進め、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っていく必要がある。今後のさらなる検討が必要。
	ワンストップサポート事業の推進	38	ワンストップサポート 事業の推進	NPO法人洞爺にぎわ いネットワーク	平成22年度	_		
農産物など地場産品を活用した魅力づくり	食(農産物)の活用と売り込み	39	ちゃんマルシェゆきだる	NPO法人WAOニセコ羊 蹄再発見の会、倶知安 町 他	(通年営業)	_		倶知安町にアンテナショップ「くっちゃんマルシェゆきだるま」が開設し、地域住民と来訪者の交流の+場、地場産品の販売の場としての展開が期待され
	2 (22 10) 3 (21 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 1	40	「いなかのおもいやり (缶詰)」の販売	NPO法人きもべつWAO	継続展開中	_		る。今後は適切なニーズの把握やそれに応じた販売経路の確保等についての検討が必要である。
		41	恵庭の秋めぐり紅葉バ スツアー	えにわ シーニックプロジェクト	平成22年10月16日	45名	S W 1	エリアの魅力が感じられる観光地を巡るバスツ アーや、特産品をテーマとした広域イベントなどに
周辺の田園地帯や水資源を活用した魅力づくり	エリア企業との連携による魅力づくり	42	えにわシーニックナイト	えにわ シーニックプロジェクト	平成23年2月12日	3000人		より、地域の魅力をPRすることができた。今後は、地域連携の充実を図りながら活動の継続を目指すとともに、エリアとしての新たな観光メニューの創出に向けた取り組みや、それらの情報を効果
		43	北海道キャンピングフェ スティバル	シーニックプロジェクト	平成22年7月20日	200名	S W 2	的に発信していく仕組みづくりなどについて検討し
エリアのきめ細かな情報の発信	ホームページでの情報発信	44	イベント情報等の発 信	洞爺湖温泉観光協 会、NPO法人そうべ つ観光協会ほか	平成22年度	_		紙媒体の情報媒体は比較的充実しており、ホームページ等のweb情報媒体はしりべし、ネットとの相
2 Condition Collis (Max 2011)	ニセコをPRする冊子(英語・中国語)の作成	45	ニセコ ガイドブック「3W NISEKO」発行	国際の会	平成22年1月発行(継 続中)	7,000部		互利用による効果が期待されるため、情報共有や 役割分担等連携に向けた検討が必要。

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート 報告者: 支笏洞爺ニセコルート代表 熊谷 雅幸 **報告年月: 2011/3/31**

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
		観光コミュニティバスの実験運行	46	恵庭の秋めぐり紅葉バ スツアー	えにわ シーニックプロジェクト	平成22年10月16日	45名	S W 1	
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	ホームページの作成	47	ウェルカム北海道エリア ホームページでのイベント紹介及び活動報告	エリア代表者会議 えにわシーニックプロ ジェクト 社団法人 千歳青年会 議所 支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成22年度終了	l		エリアの魅力が感じられる観光地を巡るバスツアーや、特産品をテーマとした広域イベントなどにより、地域の魅力をPRすることができた。今後は、地域連携の充実を図りながら活動の継続を目指すとともに、エリアとしての新たな観光メニューの創出に向けた取り組みや、それらの情報を効果的に発信していく仕組みづくりなどについて検討していく。
		エリアの周辺の検討	48	恵庭秋めぐり紅葉バス ツアー	えにわ シーニックプロジェクト	平成22年10月16日	45名	S W 1	
			49	「ぐるっと洞爺湖MA P(マップ)」の作成	洞爺湖温泉観光協 会	平成22年度	_		「世界ジオパーク」として登録された「洞爺湖有珠
	洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実	マップ・パンフレットの作成	50	「観光マップ」の作成	NPO法人そうべつ観 光協会	平成22年度	_		山ジオパーク」が有する洞爺カルデラや有珠山などに代表される地質遺産や、雄大で美しい自然遺産、さらに縄文遺跡などの歴史遺産などを積極的
		ホームページやエリアマップなどでの情報発信	51	イベント情報等の発信	洞爺湖温泉観光協 会、NPO法人そうべ つ観光協会ほか	平成22年度	_		に活用した地域振興・観光振興、人材育成等が期 待される。
		地域の歴史・文化を伝える語りべの会の開催	52	エキノコックス公開講座	NPO法人WAOニセコ羊 蹄再発見の会 他	平成23年3月8日	70名	S N 3	
		ふれあいのある体験ツアーの企画開催	53	ニセコ湯めぐりパス	ニセコリゾート観光協会	継続展開中			
		フォトラリーの開催	54	ジオサイトフォトラ リー2010	NPO法人そうべつ観 光協会	平成22年8月6日~ 29日	-		
		エコミュージアムの情報発信	55	ホームページ等によるWeb情報媒体を活用した情報提供	洞爺湖有珠山ジオ パーク推進協議会、 NPO法人そうべつエ コミュージアム友の	平成22年度	_		
観光			56	ジオパークガイドブッ クの発行	洞爺湖有珠山ジオ パーク推進協議会	平成22年度	_		
	資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成		57	洞爺湖有珠山ジオパーク認定1周年記念ジオツアー「洞爺湖中島散策会」	NPO法人そうべつエ コミュージアム友の 会	平成22年10月23日	24名		「世界ジオパーク」として登録された「洞爺湖有珠山ジオパーク」が有する洞爺カルデラや有珠山などに代表される地質遺産や、雄大で美しい自然遺産、さらに縄文遺跡などの歴史遺産などを積極的に活用した地域振興・観光振興、人材育成等が期
		エコミュージアムツアーの企画・運営	58	世界ジオパーク認定記念「昭和新山登山学習会」	NPO法人そうべつエ コミュージアム友の 会	平成22年4月24日	52名		待される。
			59	世界ジオパーク認定記念「有珠山登山学習ジオツアー」	コミュージアム友の 会	平成22年5月9日	56名		
			60	「冬のオロフレ峠」樹 氷鑑賞ツアー	NPO法人そうべつエ コミュージアム友の 会	平成23年2月20日	22名		
	エリア連携によるふれあい観光の推進	ルートを対象としたイベント・ツアーの企画・実施 (シーニックナイト〜灯りで繋ぐ雪の道〜)		えにわシーニックナイト	えにわ シーニックプロジェクト	平成23年2月12日	3000人		エリアの魅力が感じられる観光地を巡るバスツアーや、特産品をテーマとした広域イベントなどにより、地域の魅力をPRすることができた。今後は、地域連携の充実を図りながら活動の継続を目指すとともに、エリアとしての新たな観光メニューの創出に向けた取り組みや、それらの情報を効果的に発信していく仕組みづくりなどについて検討していく。
	A STATE OF GROUP OF THE STATE O			支笏湖 雪あかりの散 歩道	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成23年2月11日~2 月13日			エリアの魅力が感じられる観光地を巡るバスツアーや、特産品をテーマとした広域イベントなどにより、地域の魅力をPRすることができた。今後は、地域連携の充実を図りながら活動の継続を目指すとともに、エリアとしての新たな観光メニューの創出に向けた取り組みや、それらの情報を効果的に発信していく仕組みづくりなどについて検討していく。

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート 報告者: 支笏洞爺ニセコルート代表 熊谷 雅幸 報告年月: 2011/3/31

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括	
	イベントの企画・運営		63	洞爺湖温泉イルミ ネーショントンネル	洞爺湖温泉観光協 会	平成22年12月20日 ~平成23年2月20日	1			
	I OLOLO EB		64	TOYAKOマンガ・ア ニメフェスタ	洞爺湖温泉観光協 会	平成22年6月26日・ 27日	-			
		温泉街ガイドブックの発行		「ぐるっと洞爺湖MA P(マップ)」の作成	洞爺湖温泉観光協 会	平成22年度	ı		「世界ジオパーク」として登録された「洞爺湖有珠 山ジオパーク」が有する洞爺カルデラや有珠山な	
	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上			洞爺湖温泉誕生100 年感謝祭	洞爺湖温泉観光協 会	平成22年7月24日・ 25日	I		どに代表される地質遺産や、雄大で美しい自然遺産、さらに縄文遺跡などの歴史遺産などを積極的に活用した地域振興・観光振興、人材育成等が期待される。	
		湖畔カフェの設置	67	湖畔カフェ	洞爺湖温泉観光協 会	平成22年7月24日~ 10月24日まで	1			
	人材育成のための研修会などの開催		68	世界ジオパーク認定 記念ジオツアー	洞爺湖有珠山ジオ パーク推進協議会	平成22年6月26日· 27日	40名			
	八竹月以びための別形芸などの用度	材育成のための研修会などの開催			洞爺湖有珠山ジオ パーク推進協議会	平成22年8月7日	20名			
			70	支笏洞爺ニセコルート をつなぐ「シーニックナ イト2011」	シーニックナイト2011実 行委員会 他	平成23年1月29日~ 2月28日	約7000名		広域連携の取り組みである「シーニックナイト」は参加の しやすさから、エリア内外の各地で自然発生的に開催されるようになり、地域住民や訪れた観光客の評価も高い。	
	ルートを対象としたイベントの企画・実施(シーニ	ックナイト2010~灯りでつなぐ雪のみち~)	71	支笏洞爺ニセコルート をつなぐ「シーニックナ イト2011」	シーニックナイト2011実 行委員会 他	平成23年1月29日~ 2月28日	約600名	S N 4	ベストプロジェクト2008を受賞し、関係者のモチ ベーションがさらに増加した。また、各地での取り	
ルート及び エリア全域を 対象とした			72	支笏洞爺ニセコルート をつなぐ「シーニックナ イト2011」	シーニックナイト2011実 行委員会 他	平成23年1月29日~ 2月28日	約100名	S T 1	組みが多様化するなど地域の取り組みとして着実に浸透してきている。	
取り組み	ルートを対象としたツアーの企画・実施		73	冬の支笏洞爺ニセコド ライブ! "ヒャクノメグミ 地域資源ドライブラリー"モニ ターツアー	支笏洞爺ニセコルート 代表者会議	平成23年1月28日(金) ~29日(土)	7名	S N 5	冬道を安全に走行する講習を受けたあと、地域のお宝や隠れた資源を自分達で探し出すドライブツアーを試行するとともに、活動メンバーによる資源発掘調査を実施。今後は集客が課題。	
	こリア全域を対象とした「環境」に対する取り組みの推進~シーニックの森づくりの推進~		74	エキノコックス駆除活動	NPO法人WAOニセコギ 蹄再発見の会・倶知安 町、京極町景観を考え る会・京極町、らんこし WAO・蘭越町、NPO法 人きもべつWAO・喜茂 別町、ニセコ町 他	平成22年度 (継続事業)	各20名程度 (自治体毎に 毎月1回ベイ ト散布)		環境に配慮した取り組みとして「エキノコックス駆除活動」がエリア全域に拡大しており、今後の広域的な展開に向けた方針や方向性の再検討が必要	

『2010えにわの秋めぐり紅葉バスツアー』

【内 容】恵庭市のおすすめの見どころを周遊しながら、地元の目線で見た「えにわのいいところ=魅力」を五感で楽しむツアー。地域住民ガイドによる案内やスタッフによる野外昼食の"おもてなし" など、地域の人々との交流も魅力。札幌駅から地元ボランティアガイドが同行しバスで移動。白糸の滝、森林公園での木の実を使ったオーナメント作り、えこりん村の庭園、サッポロビール工場の見学等を楽しんだ。

【日 時】平成22年10月16日(土)【参加人数】45名

【場 所】JR札幌駅→ラルマナイ自然公園、森林公園、ランチ→えこりん村、サッポロビール 工場、むらかみ牧場、道の駅花ロードえにわ→JR札幌駅

【主 催】(株)ノーススタートラベル【協 力】(社)恵庭観光協会、恵庭市ほか

【企 画】えにわシーニックプロジェクト







『北海道キャンピングフェスティバル』

【内 容】ここ数年、道の駅に室蘭・苫小牧からのフェリーで札幌へ向かうキャンピングカーが止まっている。「恵庭をキャンピングカーのメッカにしてはどうだろう?」という恵庭市内のキャンピングカーレンタルオーナーの提案で、北海道キャンピングフェスティバルを開催。子ども達が参加できる蜜蝋キャンドルづくりや、恵庭産の野菜をつかった手作り窯焼きピザ体験の他、カリンバ遺跡の曲玉を模したかまぼこの入ったカリンバ汁の販売などが行われた。

【日 時】平成22年7月20日(土)【参加人数】80台

【場 所】恵庭市民スキー場

【主 催】北海道キャンピングフェスティバル実行委員会(えにわシーニックプロジェクト参加)

【後 援】恵庭市、恵庭市観光協会、恵庭市商工会議所







『「えにわ市民プラザ・アイル」における全道シーニック展』

【内 容】えにわ市民プラザ・アイルにて、地域の人々を対象とした、全道シーニックのパネル展を開催。全道ルートの紹介パネルを展示するとともに、平成22年11月30日に開催された全道フォーラムでの発表資料などをスクリーンに投影。全道のシーニックの魅力や活動の様子を紹介した。今後も様々な機会を通じて、PRを図っていく。

【日 時】平成22年12月20日~平成23年1月7日【場 所】えにわ市民プラザ・アイル

【主 催】えにわシーニックプロジェクト

【協 力】シーニックバイウェイ北海道推進協議会

(一社) シーニックバイウェイ支援センター









花と緑の植栽「フラワーロードユリ植え」

【内 容】道道岩内洞爺線沿い約2kmに約10万球の花ユリを村づくり研究会を中心として、村内外のボランティアが参加し、住民一体となった取り組み。「花ユリ」が道行く観光客等を大いに歓迎する「フラワーロード」として村内の観光スポットとして定着。

【日 時】平成22年6月6日(火)

【場 所】道道岩内洞爺線沿い(真狩村〜留寿都村)

【主 催】村づくり研究会会

【参加人数】180名(札幌のグリーンツーリズム関係(森づくり等)のNPO団体ほか)









教育環境プログラム 「廃油や使用済みのろうそくを再利用したキャンドル制作」

【内 容】昨年に引き続き、倶知安東小学校の児童を対象として、環境教育プログラムの一環として「廃油や使用済みのろうそくを再利用したキャンドル制作」を行った。ここで制作したキャンドルはシーニックナイト2011の会場でも設置された。

【日 時】平成23年2月11日

【場 所】倶知安東小学校

【主 催】NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会











支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

エキノコックス公開講座

【内 容】「正しい知識があれば怖くない」と称して、羊蹄山麓でのエキノコックス駆除の活動報告と調査結果等について、倶知安町風土館長 学芸員 岡崎 克則 先生からの説明会を実施した。

【日 時】平成23年3月8日(火)18:00~19:30

【場 所】倶知安町保健福祉会館

【参加人数】約70名

【主 催】NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会

【後 援】倶知安町







支笏洞爺ニセコルートをつなぐ「シーニックナイト2011」

【内 容】シーニックバイウェイ北海道 支笏洞爺ニセコルートをキャンドルの灯りでつな ぐ、"シーニックナイト2011"を開催し今年で6年目。ニセコ羊蹄エリアにおいて も年々会場毎に思考を凝らしたオブジェやスノーキャンドルに加え、地域イベントと の連携など幅広い取り組みとして地域内に定着してきている。

【日 時】平成23年1月29日から2月26日まで

【場 所】支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア内)

【参加人数】約600名

【主 催】シーニックナイト2011実行委員会【共 催】支笏洞爺ニセコルート代表者会議

【後 援】北海道開発局(札幌開発建設部、小樽開発建設部、室蘭開発建設部)





倶知安「雪トピアフェスティバル |





倶知安「国道5号沿い峠下付近」





ニセコ駅前温泉「綺羅乃湯」

冬の支笏洞爺ニセコドライブ! "ヒャクノメグミ 地域資源ドライブラリー"モニターツアー

【内 容】新千歳空港を出発し苫小牧で「冬道ドライブ講習」。その後は公道を走り、千歳・恵庭のウェルカムエリアで地域資源の宝探し。洞爺湖エリアに足を伸ばせば、洞爺湖有珠山ジオパークに代表される昭和新山、有珠山等の山々の景観のほか、洞爺湖ゼロポイント等の絶好穴場スポットもたくさんあります。シーニックドライブだからこそ満喫できる地元の自然や食、アクティビティ+地域の人との交流のあるツアー。

【日 時】平成23年1月28日(金)~29日(土) (1泊2日)

【場 所】支笏洞爺ニセコルート内

【参加人数】7名

【企 画】シーニックバイウェイ北海道 支笏洞爺ニセコルート代表者会議/

一般社団法人 シーニックバイウェイ支援センター 【旅行企画・実施】ART TOURS 株式会社アートツアーズ 【協力・関係機関】独立行政法人土木研究所 寒地土木研究所





冬道ドライブ講習



ウェルカムエリア地域資源体験 (氷涛まつり/丸駒温泉旅館/シーニックナイト)





冬の洞爺絶景を巡る~冬の体験メニュー~

シーニックナイト2011~灯りが繋ぐ雪の道~

【内 容】洞爺湖エリアでの開催は今年で5回目。毎回趣向を凝らした取り組みが行われており、今回は道の駅「そうべつ情報館i(アイ)」でシーニックナイト2011が行われた。約100個の雪のランタンにキャンドルを灯し、館内ではミニコンサートを開催。2部構成で、第1部では壮瞥中学校吹奏楽部による演奏、第2部では太田亜紀子氏のピアノ演奏と田中正文氏のナレーションによる「洞爺湖物語」が披露された。また、コーンスープとホットコーヒーが無料で提供された。

【日 時】平成23年2月4日(金)17:00~

【場 所】道の駅「そうべつ情報館 i (アイ)」【参加人数】約100名

【主 催】シーニックナイト2011実行委員会 洞爺湖エリア NPO法人そうべつ観光協会

【協 力】そうべつくだもの村、壮瞥町商工会青年部他

【共 催】支笏洞爺ニセコルート代表者会議









3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア) 報告者: 洞爺湖エリア代表 藤盛 元 報告年月: 2011/3/31

活動団体

社団法人 洞爺湖温泉観光協会、ゆったリズム体験倶楽部、NPO法人 洞爺にぎわいネットワーク、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会、そうべつくだもの村、NPO法人そうべつ観光協会、大滝レンジャーズ、NPO法人 そうべつエコミュージアム友の会 (以上8団体)

ルート運営体制(活動団体)

(1) 洞爺湖エリア代表者会議

シーニックバイウェイに参加する活動団体の連携が図りやすいように、「洞爺湖エリア代表者会議」を組織し、エリア内の連携を主として活動を行います。

(2) 洞爺湖エリア代表者会議の運営

【構成】エリア代表者会議は、エリアの各活動団体の代表者により構成します。(各活動団体の代表者の代理人の出席を認める)

【エリア代表者会議の位置づけ】

- ・エリア代表者会議は、エリアの運営の決定機関とします。
- ・エリアの短期的・長期的運営について議論する機関とします。
- ・エリア運営活動計画は、エリア代表者会議で決定します。

【代表】エリアの代表を1名選出し、その一人が支笏洞爺ニセコルート代表(1年交替)を兼任します。 ●洞爺湖エリア代表:藤盛 元(そうべつくだもの村)

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営代表者 会議	●4/22												
エリア代表者会議	情報連絡・ 調整など												
シーニックナイト 2011実行委員会									●12/24-29	●1/6•28			

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア) 報告者: 室蘭開発建設部 報告年月: 2011/3/31	
--	--

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政連絡会議の実 施												●3/25	情報共有の強化、支 援体制の構築

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア) 報告者: 札幌開発建設部 報告年月: 2011/3/31

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成22年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
		・「道道恵庭岳公園線植えるカム花ロード」 の主催及び協力	平成22年5月29日	· 恵庭市 · 北海道空知総合振 與局札幌建設管理部	・昨年に引き続き、活動団体、地域住民、千歳土木現業所と連携し、恵庭インターチェンジより市街地に向かい中央分岐帯の植樹及び、雑草除去を主催・花苗等、物資の準備、運営を行う。 ・昨年に引き続き、花のじゅうたんプロジェクトとして助成。4カ年限定の事業であ		1
	来訪者をもてなすウェルカムルートの創出			兵局化院建設管理部 千歳出張所 ・千歳市	り、22年度に最終年を迎えることから、継続に向けた検討が必要。 ・ボランティア・サポートプログラムに(VSP)により、ゴミ処理を支援 ・VSP手続きの他、活動運営等をサポート		
	北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくりの促進	・「453・530(ヨゴサン・ゴミセロ)キャンペーン」 のゴミ処理、清掃用具の提供等	平成22年5月30日、9 月30日		・ ボランティア・サポートプログラムを導入、清掃用具を提供。 ・ 大人的支援として、清掃活動に参加		2
				·支笏湖自然保護官 事務所	・人的支援として、清掃活動に参加 ・今後、環境の日や自然公園クリーンデイとの清掃活動の連携も考えられる	・沿道景観の整備(花植え、清掃)にかかる活動に対する行政の協力が確立してきており、良好な連携	
				・千歳市	- 平成21年度より実行委員会の構成機関として参加。 ・受付窓口として、市内全小学校への周知、及び、一般参加者の募集等を担当。 ・小学校(教育委員会)との連携や、フラワーマスター等の関係機関との調整。 ・ボランティアサポートプログラムにより、国道36号の植樹マスへの植栽・草刈り を実施。	体制が築かれている。 ・今後も、各行政機関連携 のもと、活動団体の意向に 対する調整や支援メニュー の提案など、密な連携が望 まれる。	
	花とみどりによる四季の感じられる景観形成	・「千歳ウェルカム花ロードver.8」の運営 支援	平成22年5月19日	・札幌開発建設部 ・千歳道路事務所	・地域協働プロジェクトとして、同取り組みを実施(国道区間)。 ・H21年度より実行委員会の構成機関として事務局運営を担当。 ・ボランティアサポートプログラムにより、国道36号の植樹マスへの植栽・草刈りを実施。 ・本活動が民間主導の運営体制となるよう、実施方法の見直しなどを図っていく。	· まれる。	3
				·北海道空知総合振 與局札幌建設管理部 千歳出張所	- 道道干歳インター線において、植栽活動を実施。 - 植栽後の維持管理が課題・小学生や地域との連携を考えたいが、安全面の問題があり難しい。現在も、月1回実施しており、行政側の対応としては限界という状況) - 企業参加及び一般参加者を増やす取組が必要。 - 昨年に引き続き、花のじゅうたんプロジェクトとして支援。4カ年限定の事業であり、22年度に最終年を迎えることから、継続に向けた検討が必要。		
	エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催	サンセットコンサート	平成22年度	•千歳市	・人的支援として、運営を補助		4
			平成19年度~	·恵庭市 ·千歳市	・恵庭市ホームページ リンク集、千歳市ホームページ リンク集ページ 内「観光」カテゴリにおいて、シーニックパイウェイ北海道へのリンクを設置。		
			平成19年度~	·北海道空知総合振 興局札幌建設管理部	・ホームページトップページにおいて、シーニックバイウェイ北海道のバナーを掲載し、活動の周知に協力。	・・地域活動への支援体制と	
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	・ホームページによる、シーニックバイ ウェイ北海道及び、エリア活動のPR	平成19年度~	・北海道	・道路課のトップページにて、シーニックバイウェイ北海道のバナーを掲載。	して、人的協力(活動参加・ 連携協力)や、情報発信 (HP・広報誌への掲載)	5
			平成19年度~	・札幌運輸支局	・札幌運輸支局ホームページトップページにて、シーニックバイウェイ北 海道のバナーを掲載。	は、継続実施されている。 また、行政連絡担当者会 議の支援の一つとして、当	
観光振興			平成19年度~	・札幌開発建設部	・H19年度より、さっけんホームページにおいてシーニックバィウエイ制度やルートに関する情報を掲載。	会議において集約された 助成金メニュー等を、都 度、活動団体へ情報提供	
		・「シーニックナイト2011~灯りが繋ぐ雪の 道	平成22年度	•惠庭市	・ルート連携活動「シーニックナイト〜灯りが繋ぐ雪の道〜」実施のため の人的支援。	を行っている。 ・持続的な活動が出来るよう、今後も情報共有を図るなど、風通しの良い連携体制の保持に努める。	
	ルート連携によるふれあい観光の推進]22]	平成22年度	·北海道石狩総合振 興局地域政策課	・ホームページにて、ルート連携活動「シーニックナイト〜灯りが繋ぐ雪の 道〜」の活動周知のための情報を掲載。	- 10 CAS	6

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)	報告者:札幌開発建設部	報告年月:2011/3/31
-------------------------------	-------------	----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成22年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
		・「シーニックナイト2010~灯りが繋ぐ雪の 道」への後援及び活動PR ・除雪協力	平成23年1月29日~ 2月26日	明 & 注 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	・ルート連携活動「シーニックナイト〜灯りが繋ぐ雪の道〜において、取り 組みの「後援」及びポスター・チランの配布など活動のPRを支援。 ・国道36号(恵庭バイパス)における除雪協力 ・職員有志が、個人サポーターとなり、取り組みを応援。		
地域づくり	地域の資源を活かしたコミュニティビジネスの創出	・恵庭の秋めぐり紅葉バスツア―の準備 協力	平成22年10月16日	•恵庭市	・市外からの参加が多く、毎年満員の人人気のツァーとなっている。 ・活動団体のみの運営では、希望者が多くても規模の拡大は難しい	・当該エリアでは地域資源 の発掘や有効活用につい てエリア単独からルート全 体での取組として検討を進	
	交流と連携による地域づくりの推進	えにわシーニックナイトの開催支援と周 知協力	平成23年2月12日		・えにわシーニックナイト開催情報のメール配信 末尺活動支援制度をになず、ケレスによる支援のの充分	めている。 ・更なる発展に向けて、行 政界や活動団体間の垣根	

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:室蘭開発建設部	報告年月:2011/3/31

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成22年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	洞爺湖に彩を添える	2010「サミット記念の森」植樹のつ どい	平成22年4月24日	洞爺湖町	環境保全への道民の関心を、森づくりなどの実行動に結びつけるため「サミット記念の森」を設置、平成21年から植樹や下草刈りなどの実践活動を行う。	当該地域では、清掃活動や花壇整備などの景観づくりが行われている。今後も地域住民の「思い」を各関係行政機	1
		MOVE洞爺湖2010	平成22年4月29日	洞爺湖町	洞爺湖温泉街の花壇整備・清掃活動を2001年から継続展開中。	関が「後押しする・繋げる」などの協働型マネジメントの取り組みにシフトしていくことが必要であると思われる。	2
44h 1=1 :	エリアの資源発掘と保全活用	支笏洞爺国立公園洞爺湖地区パー クボランティア募集事業	平成22年度	環境省 洞爺湖自 然保護官事務所	洞爺湖地区において、自然や社会状況を熟知した地元住民等からボランティアを募集し、美化清掃、環境保全活動、自然ふれあい活動、外来生物の防除等を行う。	取り組みの継続に向けた地域活動団体と連携	3
地域	エリアの人材育成	洞爺湖有珠火山マイスター制度の推 進	平成22年度	胆振総合振興局	平成20年度より「洞爺湖有珠火山マイスター制度」を推進している。現在、16名がマイスターとして認定され活動しており、次第に活動の場が広がってきている。並行して実施している「洞爺湖有珠火山マイスター養成講座」も継続を予定している。	した適切な維持管理体 制の構築が必要。	4
	洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実	「オールいぶり」によるビジットジャパ ンキャンペーンの展開	平成22年度 (継続展開)	胆振管内観光·物 産展実行委員会 胆振支庁 商工労 働観光課	運輸局と連携して西胆振戦略協議会が中心となって、ビジット ジャパンキャンペーン(以下、VJC)を展開し、観光・集客誘致に向 けた取り組みを推進している。 VJCでは、海外のマスコミやエージェントに対して、また修学旅行 等をターゲットとした各種PR活動を展開している。		5
観光	資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成	世界ジオパーク認定記念 各種ジオッアー	平成22年度	壮瞥町	ジオサイトとなっている洞爺カルデラの中にある中島を散策する 「洞爺湖中島散策会」ほか、有珠山、昭和新山を登山するジオツ アーを開催。参加者は、さまざまな分野を学習し、壮大な火山活 動が創った有珠山、洞爺湖等、ジオ・エコツアーを楽しんだ。	当該管内では、「洞爺湖 有珠山ジオパーク推進 協議会」を中心に自治	6
	イベントの企画・運営	洞爺湖温泉イルミネーショントンネル	平成22年12月20 日~平成23年2月 20日	洞爺湖町	洞爺湖温泉にぎわい広場に延長約70mのトンネルを設置し、約40万個の電球で飾る。	体間や関係行政機関の 連携が積極的に図られ ている。行政としては行 政連絡会議や各種取り 組みにおいて参加協力	7
	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	ジオパークサインの整備検討	平成22年度	胆振総合振興局	ジオパークを活用しての観光地づくり推進計画をたて、2012年の ジオパーク再審査に向けて、サイン整備を検討している。	及び人的支援等による 連携が図られている。	8
	ルートを対象としたイベントの企画・実施	シーニックナイト2011~灯りが繋ぐ雪の道~	~2月26日		シーニックバイウェイ北海道・支笏洞爺ニセコルートでの冬の夜を楽しむイベント、「シーニックナイト2011」。一般市民が多数参加し、キャンドルの火を灯すことにより、地域住民及び観光客に対して、広くシーニックバイウェイの取組をPRすることができた。		9

※表中"★"は、H22新規に実施し たご話

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)		報告者:小樽開発建設部			報告年月:2011/03/31		
	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成22年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観づくり	エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる	「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」で の検討	平成22年度	羊蹄山麓広域景観 づくり推進協議会(会 長:蘭越町長、副会 長:倶知安町長) 後志支庁	4つの部会(羊蹄の日の制定及び活動検討部会、景観法検討部会、案 内標識検討部会、水辺景観づくり部会)に分かれて地域住民と協働で具 体的な検討を進めている。また、今年度から事務局が蘭越町から倶知安 町に変更になった。	-7か町村の連携による「羊	1
	四季折々の表情を見せる田園景観を保全する	町民ボランティアの集い 「まちをきれいにしよう」	平成22年5月	京極町	ゴミや空き缶を拾い集め、きれいなまちづくりを行うことを目的として、毎年5月に市街地の清掃活動を実施。	蹄山麓広域景観づくり推進協議会」での検討を中心に 各種情報共有・情報交換	2
		「フラワーロード事業」の実施	平成22年6月6日	真狩村	継続の重要性を感じており、次年度以降も継続展開を予定している。しかし、球根の輸送代(オランダより輸入)や管理費や肥料代等が高いことが課題である。	が継続的に行われており、 地域にも浸透してきてい る。	3
	尻別川などの自然豊かな水辺の景観をつくる	「尻別川クリーン作戦」の実施	平成22年6月19日	蘭越町 小樽開発建設部 後志支庁	シーニック活動団体である、しりべつリバーネットが主催となり、清流日本ーの尻別川の清らかな流れを守ることが流域全体の自然を大切にする心の和を広げることを目標として、カヌー等を使って清掃。作業終了後は地域との交流を図る交流会を実施。		4
地域づくり	歴史や文化資源も含めた地域資源の発掘と活用	雪トピアフェスティバル2011 (実行委員会構成メンバーとして参加)	平成23年2月19日~ 20日	俱知安町	町と町民有志による協賛で開催し、自衛隊も全面的に協力してくれている。運営は雪トピアフェスティバル実行委員会、事務局は倶知安町役場商工観光課。今年もシーニックナイトとも連携したイベントとしてキャンドルを介した交流を行った。	広域連携の取り組みであ	5
	地域コミュニティを大切にした地域づくりの推進	「シーニックナイト2011」への協力・参加	平成22年1月29日~ 平成23年2月26日	- ロコキ蹄 / か剛村 - セコキ蹄エリアにおいて活動団体が存在する自治体では、地域活動 境に電 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		る「シーニックナイト」や環 境に配慮した取り組みとし て「エキノコックス駆除活 動」が各自治体にも定着し てきている。	6
	地域の人材の育成と活用	道の駅「望羊中山」における観光業務委託 (シーニックバイウェイプラザin中山峠の管理運営、各種情報発信など)	平成22年度	喜茂別町	商工会からNPO法人きもべつWAOに対して観光業務委託をしている。主な内容としては、観光全般の支援、中山峠のトイレ清掃、iセンターでの情報発信等。		7
観光振興	農産物など地場産品を活用した魅力づくり	アンテナショップ「くっちゃんマルシェゆき だるま」の開催	(通年営業)		平成21年4月、NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会を中心として、倶知安町青年団体協議会、ようてい農協倶知安支所、倶知安商店連合会、倶知安観光協会、倶知安商工会議所のメンバーにより「くっちゃんアンテナショップ運営推進協議会」を設立した。コンセプトは、地元の新鮮な展産品や特産品の紹介や販売による生産者同士あるいは生産者と消費者の交流の場をメインに、観光案内などの情報発信機能、憩いの場としての機能としても活用できる、地域に根ざした多目的空間の創出である。		8
	エリアのきめ細かな情報の発信	しりべしシステム事業との連携 (HP等の媒体活用による情報受発信)	平成22年度	後志支庁、小樽開発建設部	「しりべしシステム」では、地域だよりとして各自治体からのイベント情報 等を随時提供している。また、シーニックパイニセコ羊蹄エリアのサイトリニューアルについても、お薦め景観ポイントやシーニックイベント情報等 の提供を検討中。	ほとんどの自治体において 地域活動団体への金銭的 な支援は直接できないが、 自主財源を確保するため の情報提供等は適宜行わ れている。	9
	地域のとのふれあいを大切にした観光の推進	ニセコフェスティバル2010の開催	平成22年9月4日~ 10月16日	ニセコフェスティバル 実行委員会(後志支 庁、ニセコ町、倶知 安町、蘭越町他)	ニセコ本来の魅力をお知らせし『ニセコファン』を確保し、倶知安・ニセコ・		10
その他	★エリア全域を対象とした「環境」に対する取り組みの推進	エキノコックス駆除に向けた調査等	平成22年度	俱知安町、蘭越町、 京極町、ニセコ町、 喜茂別町	ニセコ羊蹄地域が国際的な観光地へ発展するための環境整備のひとつとして、人間と野生動物が安全に共存で含状況をつくるための生態系 修復の試み。喜茂別町及びニセコ町でエリアを拡大展開し、寄生された キツネのフンに含まれるエキノコックスの抗原(排泄物)の有無に基づい て寄生率を求めた。エリア代表者会議、及び行政連絡会議においても周 知・協力体制の構築を図っており、エリア全体の取り組みとしての展開に つながることを期待する。	ついては、羊蹄山麓エリア の5自治体(蘭越、ニセコ、 喜茂別、京極、倶知安)に て予算付けがされるなど、 地域全体の取り組みとして 認知されてきた。	11
	★シーニックバイウェイの地域内外への浸透に向けた取り組みの推進	地域住民等との協働による景観配慮型 道路付属施設への改善等の試行実施	平成22年度 (継続実施中)	小樽開発建設部	ニセコ羊蹄エリアを訪れる旅行者および地域住民における同エリアが シーニックパイウェイのルートであることの認識度向上のため、地域活動 団体や地域住民等と協働し、景観配慮型の道路付属施設のあり方等に ついて検討を行い、改善を試行的に実施した。	シーニックバイウェイ北海 道の浸透については、地 域活動団体が存在するも 治体及び活動が活発さな地 域については浸透している が、地域住民に対する周 知が次のステップへの課 題である。	12

5. 平成21年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート	報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 熊谷 雅幸	報告年月:2011/3/31
7 1 1 1 1 1 X X X X X X X X X X X X X X	THE ELECTION AND THE	IN H 173 120 117 07 01

平成21年度活動報告への助言	平成22年度 状況報告	備考
・シーニックバイウェイ北海道の持続的推進やブランドの形成・活用に向け、引き続き、ルート活動の地域への浸透、改善の仕組みの強化、人材育成の充実に浮めるとともに、あわせて、ルート活動の基盤や支援体制を強化することに取り組まれたい。	シーニックバイウェイ北海道の最大のメリットである広域連携という利点を生かしたなかで、各地域活動団体及び各自治体が連携した取り組みが多様化している。 一方で課題としては、各種会議の形骸化とともに昨年度に引き続き後継者及び活動を支える人材の不足、地域内への活動周知徹底、運営資金の捻出が困難などといった課題もあげられており、今後のさらなる検討が必要である。 ●ルート活動の地域への浸透・改善の仕組み強化・支笏洞爺ニセコルートを訪れる来訪者や地域住民に対して、シーニックバイウェイ北海道の指定ルートであることを認識してもらい、長期間人々の記憶に残り愛されるようなルートのロゴマーク案の作成を目的とし、昨年度から継続検討中。来訪者・地域双方の視点で、望ましいロゴマークのあり方について時間をかけて検討が進められている。 ●ルート活動の基盤・支援体制強化・昨年度設置されたルートのメーリングリストが意見交換の場として活用され、ルート内の意見調整や情報共有が円滑に図られつつある。また、行政機関との連携も定着されつつある。 ●ブランドの形成・活用ルート連携活動の一つとして地域資源の発掘調査(ヒャクノメグミプロジェクト)を取組中。またモデルコースの設定やエージェントへのPRを視野に、専門部会設立の準備中。 ●人材育成の取組・2009年度はルート連携活動のシーニックナイトにて、地域住民や教育機関等との連携を図った。また個別活動においても同様に地域住民の参画をきっかけに、交流・連携の拡大を目指す試みを継続中。	

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:札幌開発建設部、小樽開発建設部、室蘭開発建設部	報告年月:2011/3/31

平成21年度活動報告への助言	平成22年度 状況報告	備考
・シーニックバイウェイ北海道の持続的推進やブランドの形成・活用に向け、引き続き、ルート活動の地域への浸透、人材育成の充実、ルート活動の基盤の強化に努められたい。	ルート活動の浸透に向け、行政連絡会議の場を活用した情報提供や情報共有の徹底を図るとともに、個別ヒアリングを実施し、自治体の広報誌等を活用した地域への周知を図るなど連携体制を構築している。また、ブランドの形成として京極町においては、羊蹄山のすそ野に広がる畑地帯がおりなす四季の農村景観と羊蹄山からの湧水を活用した地域づくりが評価され「日本で最も美しい村」連合に加盟するなど、新たな地域ブランドの形成を展開している。また、人材育成としては、各関係行政職員が地域活動団体の支援として、活動への参加や助成金情報の提供等による人的支援及び事務局補助的な役割を担っている。 【ウェルカム北海道】・過年度に引き続き、行政連携による情報発信・人的支援の定着化が見られた。・ルート活動の基盤・支援体制の強化に向けて、持続的な活動持続のために有益となる情報(助成金等)の提供・共有を着実に図っていくことが必要。	京極町が「日本で最も美しい村」連合に加盟(平成21年10月)